
クローバー

ちほ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クローバー

【Nコード】

N5145C

【作者名】

ちほ

【あらすじ】

お嬢様二人、七海さんと明日香さん。二人がいつものようにショッピングをしていると…？

（前書き）

主人公・七海に自分と重ね合わせてみると意外とおもしろいかも知れません。

クローバー程可愛いものは存在しない。クローバーほど可憐なものは存在しない。いや、させない！

申し遅れました、私【村上七海】と申します。上の文ですでお分りだと思いますが、一応言わせていただきます。私はクローバーを愛しています！クローバーの為なら私の命くらい差し上げますわ！
：申し訳ございません。クローバーのことになるとつい取り乱してしまつて…。

時は8240年。七海13歳。その日は友達とシュッピングをしておりましたの。突然友達の明日香さんが四つ葉のクローバーを私にくれました！

「クローバーには凄い能力があるんですつて。きっとこのクローバーが七海さんが緊急事態の時助けて下さいますわ。」

「明日香さん：ありがとうございます。」

一番の親友から戴いた大切なクローバー（物）。でも凄い能力つて何なのでしょう？聞こうと思ったのですが、明日香さんたら！一人でシュッピングを楽しんでいるではありませんか！しかたない、また後でお聞きすることにしましょう。

その考えが甘かったのです。

明日香さんは道にいつのまにか出ていて：大型トレーラーにひかれてしまったのです！音や気配でわかるのではないか？いいや、分かんかったのです。明日香さんはMDプレイヤーというもので音楽をきていて、しかも買い物をしたばかり。気分は上々、浮かれ上がっていたので周りの気配なんてまるで気にしてませんでした…。

「グシャ…」

七海の目の前で鈍い音を立てて明日香の体からちぎれた…。

「明日香さん！このクローバーは明日香さんが持ってたほうがよか

ったではないですかあ！こんなのって…こんなのなしですよあ！」
…とまあ、昔は今より上品でしたのよ。

そして今、ここにあるクローバー！

これは彼女の生まれ変わりとして大事に保管しています。

今だに凄い能力というのは分かりませんが、もう結構です。明日香さん。あなたの所へいくまでには私が見つけた答えを明日香さんに見せれるように、言えるようにこれからも頑張っていけます！

I LOVE クローバー

あなたは全世界の人々を救う大切な生きものです…。

（後書き）

結局、凄い能力は分からなかった。でも一つだけ七海には分かっていた。‘信じる気持ち’が大切なんだってことを…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5145c/>

クローバー

2011年1月7日14時15分発行